



令和7年7月18日
夏休み直前号
No.478
発行責任者
校長 西村 学徳

待ちに待った夏休み

生活指導主任 上條 大樹

本日、1学期の終業式を迎え、待ちに待った夏休みが始まります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございました。

明日から39日の夏休みです。今週は「夏休みまであと〇日だね。」と話しながら、夏休みを前にワクワクしている児童の姿が多く見られました。ぜひ、充実した日々を過ごしてほしいと思います。充実した日々を過ごすためには、3つのポイントがあると考えます。「規則正しい生活」「体験」「安全」です。

まずは、「規則正しい生活」です。学校では、授業や休み時間の始めや終わりにはチャイムが鳴ります。ご家庭でも、学期中は登校時刻に合わせて起きるなど自然と時間を意識して生活することになります。しかし、夏休みは登校もチャイムもありません。生活リズムが崩れて、2学期の学校生活に影響を及ぼしてしまうこともあります。健康的な生活を送るためにも、一人一人が自分の中でチャイムを鳴らし、時間を意識した生活ができるとよいです。

次に、「体験」です。夏休みだけしかできない体験をたくさんしてほしいと思います。例えば、社会科で学習した場所に行ってみたり、自由研究に挑戦したり、厚い本をじっくり読んだりするのはいかかでしょうか。また、8月には「福生七夕まつり」が開催されます。今年で75回目の開催、毎年たくさんの人が訪れる福生市の歴史が満載の行事です。本校では、3年生が総合的な学習の時間に七夕まつりについて学習し、七夕飾りを製作しました。開催は8月8日～10日です。

最後は「安全」です。特に、海や川の事故とSNSの使い方には気を付けましょう。毎年、海や川での悲しい事故が起きています。学校では多摩川には近付かないよう繰り返し指導しています。ご家庭でも、お子様にご指導をお願いします。また、夏休み期間中は家庭で過ごす時間が長いことから、スマートフォン等を操作する時間も長くなる傾向があります。また、テレビ等の報道では、ゲーム等で高額の課金をしてしまったり、SNS上で友達とケンカになってしまったりしたトラブルのニュースをよく見聞します。ご家庭でのスマートフォン等の使い方について、お子様と話し合い、安全に使用できるようにしていただけるとありがたいです。

福生第二小学校の児童全員にとって、充実した夏休みになることを教職員一同願っております。そして、2学期の始業式に元気な顔で会えるのを楽しみにしています。